

安全データシート

作成日 : 2015年3月23日, 改訂日 : 2019年4月26日

1 製品及び会社情報	
製品の名称	オートンウレックスHG
会社名	オート化学工業株式会社
住所	東京都台東区上野 5-8-5
電話番号	03-5812-7310
緊急連絡先	生産本部 環境品質保証部 029-831-0913 (ファックス番号 029-831-0923)
推奨用途	防水材、コーティング材

2 危険有害性の要約			
GHS 分類	物理化学的危険性	引火性液体	区分3
	健康有害性	急性毒性 (吸入)	区分1
		皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分2
		眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分2A
		呼吸器感作性	区分1
		皮膚感作性	区分1
		特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分2
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分2	
環境有害性	区分に該当しない		
※上記で記載が無い危険有害性は区分に該当しない、又は分類できない			
GHS ラベル 要素	絵表示		
	注意喚起語	危険	
	危険有害性情報	引火性液体及び蒸気。 吸入すると生命に危険。 皮膚刺激。 強い眼刺激。 吸入するとアレルギー、ぜん息又は呼吸困難を起こすおそれ。 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 臓器 (呼吸器系・肝臓) の障害のおそれ。 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器 (呼吸器系) の障害のおそれ。	
注意書き	熱、火花、裸火、高温付近での作業はしないこと。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 適切な保護具 (手袋, 保護眼鏡, 防護マスク) を着用すること。		

	<p>本来の用途以外には使用しないこと。 環境に流出させないこと。 子供の手の届かない所に保管すること。 内容物や容器を廃棄する時は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。</p>
--	---

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物	混合物			
GHS 分類に寄与する成分(不純物含む)	石油ナフサ (高沸点炭化水素に含有)			
組 成	化学名又は一般名	濃度範囲 (wt%)	CAS RN	官報公示整理番号(化審法)
	ウレタン樹脂	40～50	—	既 存
	無機系充填材	40～50	登 録	既 存
	添加剤	1～10	登 録	既 存
	高沸点炭化水素	1～10	登 録	既 存
	エステル系溶剤	0.1～1	登 録	既 存

4 応急措置

吸入した場合	気分が悪くなった時は、被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。衣類をゆるめ、保温、安静を保ち、速やかに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。製品に触れた部分を水又は微温湯で流しながら石鹼を使って洗浄する。炎症や痛みなどの症状がでた場合は、医師の手当てを受ける。
眼に入った場合	清浄な水で最低 15 分間眼を洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受ける。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。コンタクト着用の場合、容易に外せる場合は、外して、まぶたの裏まで完全に洗浄する。
飲み込んだ場合	無理に吐き出させず、ただちに医療機関へ搬送して処置を受ける。水で口の中をよく洗わせてもよい。被災者に意識の無い場合は、口から何も与えてはならない。

5 火災時の措置

消火剤	炭酸ガス・泡・粉末・乾燥砂
使ってはならない消火剤	棒状水
特有の危険有害性	樹脂の燃焼によりシアンガスの有害成分が発生する。 燃焼により樹脂中に含まれる顔料が、吸入すると有害な粉じんとして飛散する危険がある。
特有の消火方法	可燃性のものを周囲から、速やかに取り除くこと。
消火を行う者の保護	適切な保護具（防護マスク等）を使用し風上から消火する。

6 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業の際には、適切な保護具（手袋、防護マスク、エプロン、ゴーグル）を着用して、蒸気の吸入や、皮膚、眼に接触しないようにする。
環境に対する注意事項	本製品を環境中（水域、土壌）に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	回収、中和：ウエス等で拭き取り、蓋付き容器に回収する。 中和剤（水/炭酸ナトリウム（重曹）/液体洗剤 =90-95/5-10/0.2-0.5wt%）
二次災害の防止策	漏出物はウエスで拭き取り、容器に回収し、フタをして換気の良い安全な場所に移す。 ウレタン樹脂は水と反応すると二酸化炭素が発生するので、完全に密閉すると容器が膨れる危険がある。 火気厳禁の処置をとる。

7 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	<p>技術的対策：8 項「ばく露防止及び保護措置」記載の設備対策を行い、保護具を着用する。</p> <p>安全取扱注意事項：全ての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。</p> <p>屋外又は換気の良い場所で取扱う。</p> <p>換気の悪い場所では局所排気装置を使用する。</p> <p>容器はその都度密閉する。</p> <p>皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないように適切な保護具を着用する。</p> <p>接触回避：10 項「安定性及び反応性」記載の混触危険物質と混合接触してはならない。</p> <p>衛生対策：取扱い後は、よく手を洗うこと。</p> <p>汚染された作業衣は脱ぐこと。</p>
保管	<p>安全な保管条件：火気、熱源から遠ざけて保管する。</p> <p>湿気を避けて直射日光が当たらない通風の良い屋内貯蔵所に保管する。</p> <p>子供の手の届かない所に保管する。</p> <p>混触禁止物質：10 項「安定性及び反応性」記載の混触危険物質と一緒に保管してはならない。</p> <p>安全な容器包装材料：移し変えてはならない。</p>

8 ばく露防止及び保護措置	
許容濃度	<p>高沸点炭化水素：1200mg/m³ (ACGIH) (原料メーカー SDS : 2013/8/9 による)</p> <p>エステル系溶剤：非該当 (原料メーカー MSDS : 2009/8/11 による)</p>
設備対策	<p>火気厳禁の措置をとる。</p> <p>換気の悪い場所においては換気の為の装置を設置する。</p>

保護具	呼吸器の保護具：必要に応じ有機ガス用防毒マスクを着用。 手の保護具：必要に応じ手袋を着用する。 眼の保護具：必要に応じゴーグルを着用する。 皮膚及び身体の保護具：必要に応じ長袖を着用する。
-----	---

9 物理的及び化学的性質	
物理状態	ペースト状
色	グレー
臭い	エステル臭
沸点	高沸点炭化水素, エステル系溶剤 : 90~170℃
可燃性	引火性液体に該当
爆発下限界及び爆発上限界	高沸点炭化水素, エステル系溶剤 : 0.6~12.9vol%
引火点	37℃ (セタ密閉式)
自然発火点	高沸点炭化水素 : >200℃
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	高沸点炭化水素 : 無視できる (水) エステル系溶剤 : 12.6wt%
n-オクタノール/水分配係数	データなし
蒸気圧	高沸点炭化水素 : 210Pa / 20℃ エステル系溶剤 : 5300Pa / 20℃
密度	1.41 / 23℃ (電子比重計)
相対ガス密度 (空気=1)	高沸点炭化水素 : >1 エステル系溶剤 : 3.1
粒子特性	データなし

10 安定性及び反応性	
反応性	空気中の湿気と反応し硬化するが、通常の使用では危険な反応はない。
化学的安定性	通常の手扱いは安定。
危険有害反応可能性	水と反応し炭酸ガスを発生する。密閉容器内で起こると、容器が膨れ、場合によっては破裂することもある。混触危険物質と反応、又は加熱すると火災や爆発に至ることがある。
避けるべき条件	熱, 火花, 裸火, 着火源付近や高温での保管, 混触危険物質との接触を避ける。
混触危険物質	アミン, アルコール, 水等の活性水素化合物, 酸化剤, 塩基等
危険有害な分解生成物	シアンガス

11 有害性情報：混合物のデータが無い為、有害成分の情報を記載。	
急性毒性	ウレタン樹脂 : LD ₅₀ (経口) 4814mg/kg : LC ₅₀ (吸入) ラット 0.031mg/L

急性毒性	<p>高沸点炭化水素 : LD₅₀ (経口) >15000mg/kg : LD₅₀ (経皮) >3160 mg/kg エステル系溶剤 : LD₅₀ (経口) ラット 13800mg/kg : LD₅₀ (経皮) ラット 2500 mg/kg</p>
皮膚腐食性／刺激性	<p>ウレタン樹脂 : ヒトにおいて重度の刺激性を示すとの記載 (HSDB (2003))があり , ウサギで腐食性および重度の壊死および浮腫性が記載されている (IUCLID (2000), CERI ハザードデータ集 (2000)) 高沸点炭化水素 : 長期間の曝露により皮膚に中度の刺激を与える。 エステル系溶剤 : ウサギとラットの2種の動物で刺激性なしの結果。(IUCLID (2000))</p>
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	<p>ウレタン樹脂 : 本物質は皮膚腐食性物質であり, ヒトで強い眼刺激が報告されており (CERI ハザードデータ集 (2000), 環境省リスク評価第3巻 (2004), IUCLID (2000)), ウサギで中等度から重度の刺激性が報告されている (CERI ハザードデータ集 (2000)) 高沸点炭化水素 : 短い時間軽度な不快感を及ぼす恐れあり。 エステル系溶剤 : ウサギを用いた試験の結果が、軽度の刺激性と記述されている。(IUCLID (2000))</p>
呼吸器感作性又は皮膚感作性	<p>ウレタン樹脂 : 吸入するとアレルギー、ぜん息又は呼吸困難を起こすおそれがある。また付着するとアレルギー性皮膚炎を起こすおそれがある。</p>
生殖細胞変異原性	<p>ウレタン樹脂 : in vitro 試験で陰性の結果はあるが (CERI ハザードデータ集 (2000)), in vivo のデータがない。</p>
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	<p>ウレタン樹脂 : ラットで鼻粘膜の刺激性があるとの記載 (IUCLID (2000)), およびヒトで気道への強い刺激性があるとの記載 (CERI ハザードデータ集 (2000))。 高沸点炭化水素 : 中枢神経に悪影響することがある。</p>
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	<p>高沸点炭化水素 : 長期間及び/又は反復して触れると、皮膚から脂肪は除かれ、結果として痛み、皮膚炎を起こすことがある。</p>
誤えん有害性	<p>高沸点炭化水素 : 飲み込むないし吐き出す最中に、吸引される少量の液が化学的気管支肺炎ないし肺水腫を引き起こす可能性がある</p>

12 環境影響情報 ：混合物のデータが無い為、有害成分の情報を記載。	
生態毒性	ウレタン樹脂 : 甲殻類(コヒキ科)96hr LC50=4mg/L (原料メーカー SDS)。 高沸点炭化水素：水生生物に対する有害性は予測されない。
残留性・分解性	ウレタン樹脂 : BOD 0% (28h/EU C. 4-D) 高沸点炭化水素：易分解性であると予想される。
生体蓄積性	ウレタン樹脂 : 生体蓄積性なし 高沸点炭化水素：水生生物に対して慢性毒性を及ぼすことは予想されない。
土壌中の移動性	ウレタン樹脂 : 土壌や水域(底質)環境に移動しうる。 高沸点炭化水素：非常に揮発性が高く、速やかに空気中に拡散する
オゾン層への有害性	モトリオール議定書に記載されている物質の使用はない。

13 廃棄上の注意	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃塗料、空容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。 ・ 容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さない。 ・ 排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法律に従って処理を行うか、専門業者に処理を委託する。 ・ 燃焼又は樹脂の劣化等により、樹脂中に含まれる顔料が、吸入すると有害な粉じんとして飛散する危険があるので、取扱う際は、防護マスクを使用する。 ・ 廃棄物の種類： 内容物(液体) [燃えやすい廃油(特別管理型産業廃棄物)] 内容物(硬化物) [廃プラスチック類(安定型産業廃棄物)] 	

14 輸送上の注意	
国連番号	1992
品名(国連輸送名)	その他の引火性液体(毒性のもの)
国連分類	3(引火性液体類)
容器等級	III
海洋汚染物質	非該当
陸上輸送	消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、法令の輸送について定めるところに従う。
海上輸送 航空輸送	船舶安全法・航空法に定めるところに従う。 ASTM D4359-90の固液判定で液体。引火点が23℃以上60℃以下(37℃)で初留点が35℃を超えることから容器等級IIIに該当。

15 適用法令	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防法：危険物第4類第2石油類(非水溶性液体)、危険等級III ・ 危険物船舶輸送及び貯蔵規則：引火性液体類(1992)容器等級III ・ 労安法：有機則(第3種有機溶剤：石油ナフサ) ・ 表示・通知義務対象物質(石油ナフサ：20~30wt%) ・ PRTR法：非該当 ・ 毒物及び劇物取締法：非該当 	

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 大気汚染防止法：非該当 ・ 水質汚濁防止法：油分排出規制対象（石油ナフ） ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律：該当（13項参照） |
|---|

16 その他の情報	
------------------	--

出典	原料メーカーの(M)SDS N I T EのGHS分類結果データベース
その他	ホルムアルデヒドの発生、及び石綿の使用は無い。

【注意】

- ・ 記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。また新しい知見により改訂されることがあります。
- ・ 注意事項は通常の取扱いを対象としたものです。特別な取扱いをする場合には、用途に適した安全対策を講じた上で実施願います。また、本製品を本来の用途以外に使用しないで下さい。